

水を編む人々

pt1

水を編む人々

げに百鬼夜行一幅の活図なり

麦秋の波

蚩

金沢市民芸術村委嘱作品・世界初演

出演

平原慎士(Gt.)

2021年度金沢市民芸術村レジデントアーティスト

ジドレ・ヴァイオリン(Vl.)

2021年度金沢市民芸術村レジデントアーティスト

ダニエリス・ルビナス(Cb.)

野田浩平(Gt.)

木村トモカ(Pf. Key.)

その他の出演予定

17時 NEP&GDK (DJ)

18時 レジデントセッション with BUDDY ZOO

20時 Misiin

20時半 ながとろ

平原慎士

2021年度金沢市民芸術村
レジデントアーティスト

2022 6.21 | Tue | 開場 17:00/開演 19:00頃スタート

「100万人のキャンドルナイト in 金沢市民芸術村 GIG on PIT3」での公演です。GIG on PIT3 コンサートは17時頃から開演します。

金沢市民芸術村 PIT3 (オープンスペース・水上ステージ)

公演チケット PIT3階段席エリア 500円/芝生広場エリア 無料

ご予約: 芸術村HP <https://www.geimura.com/music/resi-con18/>

主催: 金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会 共催: 金沢市、(公財)金沢芸術創造財団 協力: K-CUBIC、LFI



レジデントアーティストの話を受けたとき、東京都内でジャズといけばなとテクノロジーを合わせた公演を行なっていた。新しさを追求することは常に重要である一方、前に進むことが何を失くすことになるのか。革新と普遍は僕にとって大きなテーマである。綿々と続く日本の原風景とともに豊かな文化を醸成してきた金沢市において、いまいちど「残す」意味を見つめ直したい。

水を編む人々

浅野川と犀川に挟まれた金沢市街地を、一日をかけて歩き回った。観光地からすぐ、閑静な住宅地の小路で、衝撃的に目に入ってきたのは用水路の水流だった。それは各地で見かける澗んだものではなく、道端にもかかわらず激しく勢いのある姿。その活き活きとしたすがたに、大門山から日本海へと流れる水を取り入れながら、今日まで脈々と築いてきた金沢市民の生活と情緒を見たような気がしている。

げに百鬼夜行一幅の活図なり

「金沢なる浅野川の磧は、宵々ごとに納涼の出入のために熟了せられぬ。」
 泉鏡花の小説「義血侠血」は金沢を舞台とし、旅芸者を中心とした風俗を鮮やかに描いている。その文章に、音楽的な面白さを覚えるのは僕だけではないはずだ。「続きで」一団また一団、大蛇を籠に入れて荷者と、馬に跨りて行く曲馬芝居の座頭とを先に立てて、さまざまの動物と異形の人類が、絡繹として森蔭に列を成せるその状は、げに百鬼夜行一幅の活図なり。」

麦秋の波

鈴木大拙館の空間と氏の思想に触れて、これは音楽になると思った。いざ作り進めるうちに、内省的な世界観よりも大地を想起させる曲に成っていた。それは、人の手によって形成された自然の風景であり、誰もが聴いたことのある音である。

蛍

金沢は戦火や大災害を免れたため日本の原風景が街に残っていると聞いた。中心に位置する兼六園ではいまも蛍が飛ぶ。福岡で育った僕には、都市と自然は発展の象徴として、切り離されていくものとしてと捉えている。双方が調和する金沢の在り方は、未来的でもあると感じられないだろうか。その想いを、親しみやすいメロディと新たなサウンドで表現したい。



平原慎士 (Hirabaru, Shinji / Guitars)

1987年生まれ、福岡県出身。2005年ギブソンジャズギターコンテスト史上最年少準優勝受賞。2020年世田谷区芸術アワードを受賞。2006年にテキサス州立ノーステキサス大学(UNT)へ入学。2011年卒業後、東京を拠点に数多くの音楽制作に携わる。2017年、UnLike Sound Productionを設立。現在は作曲や演奏に加えて、他分野とのコラボレーションやテクノロジーを用いた音楽表現など、新たな領域を開拓している。



ジドレ・ヴァイオリン (Zydre Ovsukaite / Violin)

リトアニア生まれ。国際的な音楽活動に対してリトアニアのD.グリバウスカイト大統領(2015年)とG.ナウセーダ大統領(2020年)から、国際デビューの成功と功績に対する賛辞を公式に受ける。第7回あおよし音楽コンクール奈良(グランプリ)、第7回S.ヴァイユナス国際室内楽コンクール(第3位、S.ヴァイユナス作曲作品ベスト・インタープリテーション特別賞)など、国内外の数多くの国際コンクールで上位受賞。また、ダボス音楽祭(2021年)のダボス・カメラータ、セント・クリストファー室内管弦楽団(2016-2017年のシーズン)ではコンサートマスターを務める。現在は、2021-2022年シーズンの金沢市民芸術村のアーティスト・イン・レジデンスとして活動。



ダニエリス・ルビナス (Danielis Rubinas / Contrabass)

リトアニア出身。1998年〜2012年クレメラータ・バルティカ室内交響楽団 首席コントラバス奏者を経て、2018年よりオーケストラアンサンブル金沢 正規首席コントラバス奏者として活躍中。様々なオーケストラで首席コントラバス奏者として世界50カ国以上で演奏。ギドン・クレーメル、マリオ・プルネッロ、榎本大進らと室内交響楽アンサンブルで共演。



野田浩平 (Noda, Kohei / Guitars)

山口県出身、東京育ち。12歳からギターを始め、15歳からバンド活動を始める。後に音響の学校へ進学し現在に至るまで音響設計に関わる。音楽の視野を広げたく渡英し、10数カ国を旅して帰国。新たにバンド活動を始動。国内外問わずツアーを中心に活動し、海外のレーベルから楽曲をリリース。2013年には agnes b. 日本上陸30周年を記念したファッションショーでのギター演奏や映画への楽曲提供など、新しいフィールドでのソロ活動も開始。現在は環境音楽を中心に、ギター演奏と音響技術を取り入れた表現方法で活動している。

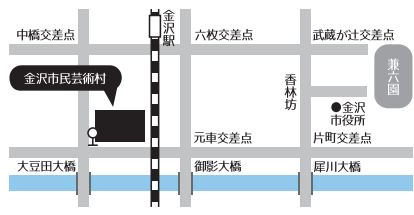


木村トモカ (Kimura, Tomoka / Piano, Keyboards)

北海道出身。高校卒業後クラシックからジャズに目覚め転向、渡米。University of North Texas卒業。帰国後、講師活動に並行し、ジャズ、ポップス、シャンソン、ゴスペルなどさまざまなジャンルのバンドのサポートでライブ、レコーディングを行う。コンサートの音楽監督、編曲なども行っている。



公演チケットのご予約ご購入・お問い合わせ



金沢市民芸術村へのアクセス

- ・金沢駅よりJR線高架に沿って徒歩10分
- ・北鉄バス「武蔵ヶ辻・近江町市場」発
- 「香林坊」経由「新金沢郵便局」行
- 「大豆田」バス停下車 徒歩5分
- ※本数が限られているため、予めご確認の上ご利用ください。

Kanazawa Citizen's Art Center 金沢市民芸術村

〒920-0046 石川県金沢市大和町1-1
 TEL:076-265-8300 FAX:076-265-8301
<https://www.geimura.com/music/resi-con18>

※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染状況等により、予告なしに内容・会場・日程・時間・定員等が変更または中止となる場合があります。※ご来場される方は、37.5度以上の発熱や風邪、味覚障害等の症状があるなど体調が優れない場合のご参加はご遠慮いただき、マスクの着用、手洗い、手指の消毒、社会的距離の確保などをお願いします。※予防対策として、出演者、スタッフは、マスクを着用し、会場にご注意は消毒液を設置いたします。※「換気の悪い空間」「多数が密集する場所」「近距離での会話や発声が行われる場面」を避けた運営を行います。皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。